

<http://yumekikou-happy.com/> **土壁佐賀** **子どもたちの喜ぶ家** **検索**

佐賀県産木材使用住宅

環境の世紀21世紀にふさわしい木組みの住まいづくりを進めてまいりました「常広の家」が完成しました。お施主様のご厚意により、完成見学会を開催させていただきます。

リノベーション

完成見学会のご案内

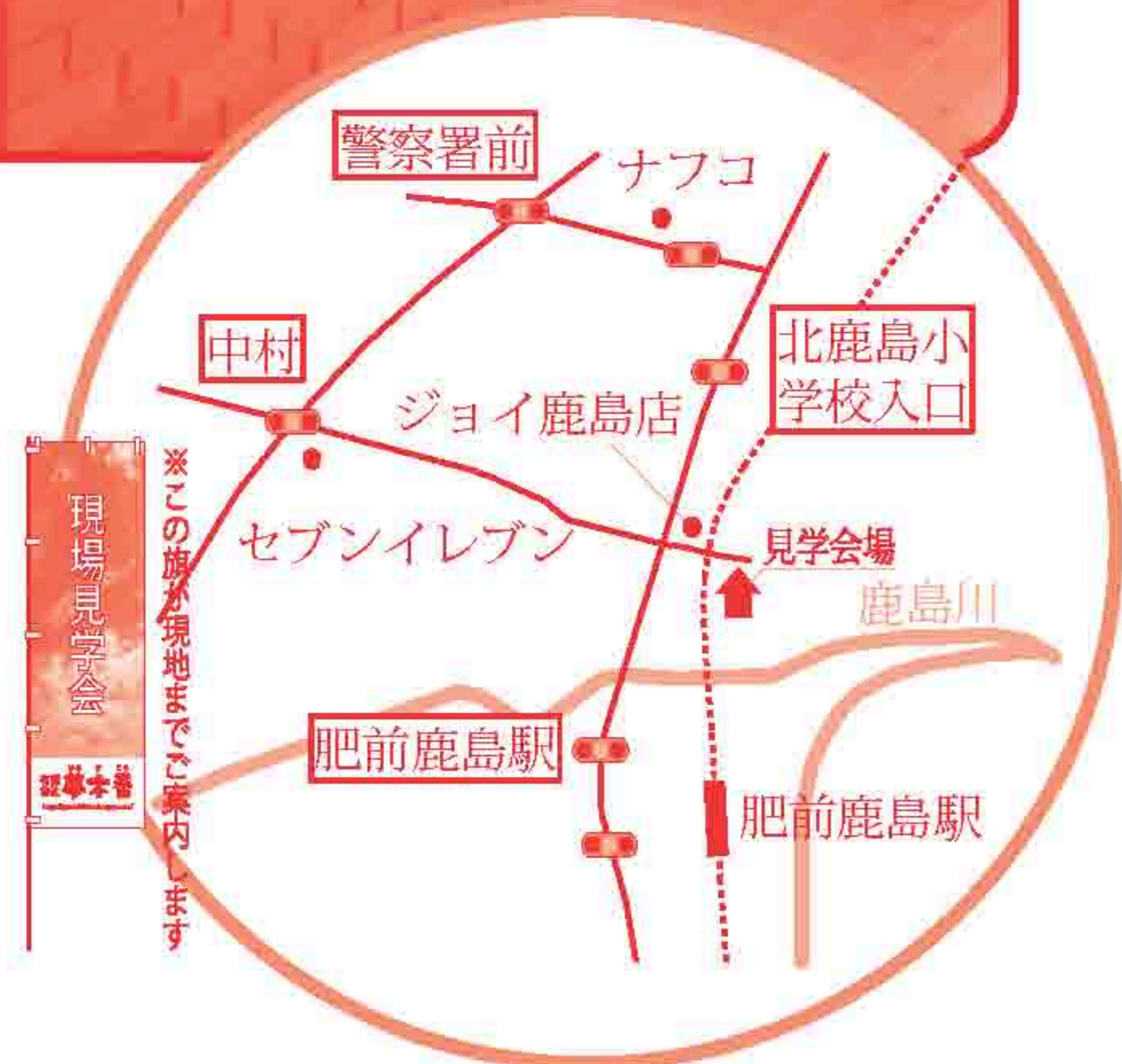


県産木材利用推進プロジェクト
キャラクター「モクリン」

きもちのいい家づくりたい



Before



※この施設が現地味でのご案内します

花壇を眺める 常広の家

11月 **7日** **±** **8日** **日**

AM10:00～PM5:00 佐賀県鹿島市常広

約築70年前に建てられた古民家に、35年程前に増築して現在の大きさになった常広の家。生活スタイルや家族構成の変化により、リノベーションを希望されました。細切れだった間取りは、一体的で開放的な空間に。日中多く過ごすにもかかわらず、寒く暗かった台所は、光が降りそそぐ眺望の良い場所に配置しました。奥さまの要望のレンガタイルと古材の色合いが、この家の歴史と相まって、新たな雰囲気を生みだしています。

受継がれる 浅浦の家 完成見学会

12月予定 佐賀県鹿島市三河内 AM10:00～PM5:00



技術者ばかりで営業マンがおりませんので、対応にご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、ご容赦くださいませ。資料の御請求やお住まいのご相談は、どのような小さなことでもご相談いただければ対応いたします。お電話やメールでお願いいたします。

住まい人の想い(お客様の声) 五感で感じる住まい
子どもたちに遺すものは **裏面に記載**

ゆめ き こう
有限会社 **夢木香**

心と体の健康を育む住まいづくり

<http://yumekikou-happy.com> E-mail:yumekikou@globe.ocn.ne.jp

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲2847 ☎0120-835-832 TEL:0954-69-8333 FAX:0954-69-8334

「佐賀県産木材」地産地消の応援団

人間が家をつくるが 住まいは人間をつくる (イギリス元首相 チャーチル)

人が住まいをつくり 住まいが人の心をつくる (沖縄の古民家 中村家住宅)

木と木を組む伝統的な木造の家。伝統的な土壁の家。日本の昔ながらの工法です。古いけれど、新しい環境の世紀、二十一世紀にふさわしい住まいが完成しました。玄関・リビング・ダイニング・キッチン・縁側に配した古材の梁組は力強さと優美を感じさせてくれます。また、ダイニングキッチンの古材の梁とタイルの壁がモダンに仕上がっています。土壁の調湿作用で、夏はひんやりと涼しく、蓄熱作用で、冬はじんわりとあたたかい。この空気感、自ら五感を使い確かめてみませんか。

おかげさまで

「サガ電子工業 新工場」

“第17回 佐賀市景観賞”

“第10回 木の建築賞”

“2013年 佐賀の家賞”

“2015年度 民家再生奨励賞” をいただくことができました。

IV受賞

サガ電子工業 新工場



古民家に学ぶこと

夢木香の住まいづくり

夢木香は自然素材にこだわり施工します。素材は身近にあります。施工するためには職人の技術が必要です。木や竹や土や紙や藁を、大工、左官、瓦、建具、畳職人たちが力を合わせ仕上げます。古民家の再生を手がけることにより、昔の職人たちと会話ができます。力強さと優美さを兼ねそなえた丸太の木組み、落ちついた風合いのいぶし瓦、漆喰の美しさと、そり壁の優美な曲線、繊細な、透かし彫りの欄間や組子など、いたるところに昔の職人の心意気が感じられます。その技術を伝承し、次世代に伝えてゆくことが大切だと感じます。古民家の再生に学び、その技術と思想を、新築やリフォームにいかしてゆくことが、私たちのつとめだと考えます。

本当のエコ住宅とは

近年、エコ住宅をうたいもんに、高気密高断熱がさかんにとなえられています。通気を遮断し、吸湿性のないビニールクロスの家が多く見受けられます。結露が発生しやすく、カビの原因をつくり、カビがダニを呼び、ダニの死骸がアレルギーを誘発します。それを避けるためには、エアコンや換気扇あるいは除湿機や加湿器や空気清浄機が必要です。つまり、設備機器を効率よく使うための工法です。設備機器がなかった時代に造られた古民家には、機械をつかわない工夫があります。呼吸する自然素材がふんだんにつかわれ、梅雨や夏の暑さをしのぐ知恵があります。寒さに対して、適度な気密と断熱をとれば、暮らしやすい住まいになります。本当のエコとは設備機器をできるだけつかわない住まいだと考えます。

200年住宅

ようやく住宅の耐久性が見直されてきました。日本の住宅の寿命は30年です。30年では木が循環していきません。木材の80%を輸入し、30年の住宅寿命しかない住宅しか造られていないのが現状です。技術がないわけではありません。日本には100年~200年の住宅、200年~500年の寺社仏閣は数多く存在します。自然の実物大実験を経た伝統的構法には学ぶべきものが多くあります。台風が襲来し、地震が多く、梅雨がある過酷な建築条件の中で耐えてきた古民家に学び、新築やリフォームも、家づくりは子や孫たちのためにとの思想を取り戻したいと考えます。

五感で感じる住まい

今、この季節、さわやかさを感じてほしい、木と土壁がもつ調湿作用で。本物の自然素材のにおいを、木の香りと漆喰や畳のにおいで。肌にあふれるこちよさを、無垢の床板をはだして歩いてください。キッチンも洗面も浴室も無垢材の手造りです。見て楽しんでください、伝統的な木組みと、骨太の木組みが持つ安心感を。耳を澄ましてください、響かない音を、木や土は音を吸収します。適度な反響、なぜなら多くの楽器は木製です。今、まわりの環境は、無機質な物、人工的な物に変わりつつあります。せめて家の中だけでも、こちよ空間がほしいものです。子どもたちに自然のハーモニーを聴かせてあげたいものです。

再生古民家・井手邸に住んでみて 井手様

私の実家、古い土蔵造りの家を約1年半かけて改装し平成21(2009)年10月に完成。この家は基本的には「木」と「土」と「紙」で出来ていて自然の素材がほとんどです。

【古民家の生活は自然の中の生活です】

木と土と紙は自然の空気に対応して自動的に調節してくれます。木は温度の調節だけではなく湿度の調節もしてくれます。風呂場や縁のガラスに結露はつきません。土壁の家は夏はひんやりと涼しく冬はほんわりと温かく感じます。これも木と同じ調湿性や調温性を持っているからです。障子(紙)は開閉により温度調節や光の調節が出来、障子を通して入ってくる光はとても柔らかく穏やかな雰囲気を出してくれます。まさに森の中に身をおいているのと同じではないでしょうか。

〈木〉

- ・吹き抜け
従来の蔵の部分を吹き抜けに改造しギャラリー風に回廊を作り小道具などの置き場にしています。吹き抜けのよさは、まずは空間が大きく広がり開放感が味わえます。
- ・床の温もり
厚さ4cmの杉材で床を張ってあります。真冬に裸足で歩いても冷たさを感じません。逆に温もりさえ感じます。夏はひんやり感が心地よいです。
- ・木の持ち味・個性
使われている柱・床板・壁板の木々には各々個性があり色・つや・模様など一つとして同じものはありません。それらがうまく調和し合っており見ていて楽しくなります。

〈土〉

- ・漆喰壁
竹を格子状に組んだ竹小舞と呼ばれる芯の部分に壁土を塗りつけ乾燥させて漆喰を塗って仕上げます。その厚さは20cmにもなります。まず感じることは色の白さです。外壁は朝日、夕日、満月、新月にも映えてとても美しく、外から家を見るのが楽しみの一つです。
- ・土間(タタキ)
赤土・砂・小砂利に消石灰と「にがり」を混ぜて固め徹底して敷いて造られた土間(タタキ)はコンクリートには無い柔らかい味を帯びた硬さがあり大地の温もりが伝わってきます。
- ・瓦
屋根は淡路産のいぶし瓦4,500枚で葺かれています。銀ねず色の瓦で白壁に柔らかく調和しています。

〈紙〉

- ・戸・障子
戸と障子は和紙とガラス張りです。和紙は光を和らげて室内に明るさを届けてくれ部屋中をやわらかく包んでくれます。佐賀の特産品に「名尾和紙」があります。名尾までみんなで見学に行き2・3種類選んで購入し家内たちのアイデアで小窓の障子を作りました。

【住み心地は】

家が完成し転居して以来、私の家には2,000人以上の方々がお見えになっています。古民家のよさや伝統的な木造建築の素晴らしさを求めてお見えになる方が多いようです。「よくぞこのような家を残してくれましたね!」と喜んでくださる方も少なくありません。古民家は、「私個人のものではなく、皆さんのものでもあるのだなあ」と思えてきました。とくに我が家が長崎街道のそばに建っていることもあって、この家が歴史的意義も出てきたことを改めて感じています。今回、古民家の改装をせず別の選択肢を選んでいたら大きな悔いが残ったのではないかと考えています。思い切ったよかったです。

佐賀の木を使うことが佐賀の自然を守る!

佐賀の森林は、約7割に杉や桧が植林されています。人の手で下刈りや間伐を行いながら、木を伐って使い、また植えるという繰り返しの続けていかないと森林がもっている機能が低下し、山の表土が流出したり環境破壊を招くこととなります。県産木材を利用することは、私たちの環境を守ることになるのです。

木造の家は第二の森林です!

「木材」は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を大気中から吸収して、自身に炭素を貯蔵します。このため、伐採後も炭素を貯蔵し続ける木材を使った木造住宅は森林を増やしたのと同じ効果があるため「第二の森林」とも言われ、地球温暖化防止に役立っているのです。

地産地消は地域の活性化につながります!

「木材」は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を大気中から吸収して地域の人々の手で森林の維持・育成、木材生産、木材加工、さらに木造住宅の建築を行い、県産木材を地元で消費することにより、木材を中心とした産業活動が活発となり、地域の活性化につながります。

